

浮島メガソーラー見学会報告

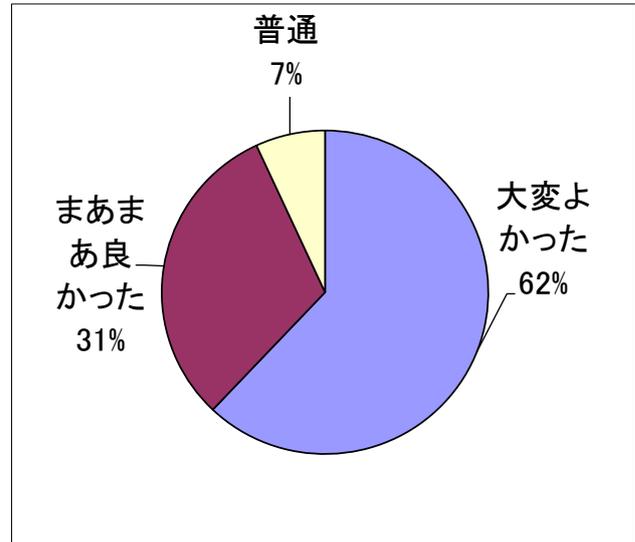
2013年5月29日実施

「入間市環境まちづくり会議」
地球温暖化防止部会

アンケート回答率 97%

1. 川崎クリーンガス発電所見学は良かったですか？

大変よかった	18
まあまあよかった	9
普通	2
計	29

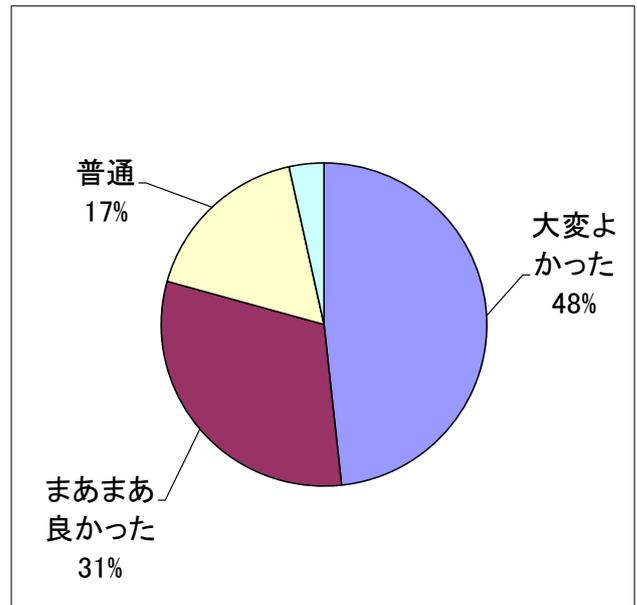


・どんなことが良かった、悪かったか

- (1) 想定外のものが見れた。
- (2) 内部を案内して頂き説明も良く判りました。
- (3) ガスエンジン部分の見学ができたこと。
- (4) CO₂が少ないことが印象に残った。
- (5) 発電する苦勞が判りました。
- (6) どのような会社があるか判った。
- (7) 設備の概要が判りました。
- (8) 少ないスペースで発電できることが判りました。
- (9) 施設を見てより具体的なイメージに結びつけられる気がします。
- (10) 自動車のエンジンシステムと似ていて面白かった。
- (11) エンジンがフィンランド製とは 国産ではないのですか

2. 浮島メガソーラー発電所の見学は良かったですか？

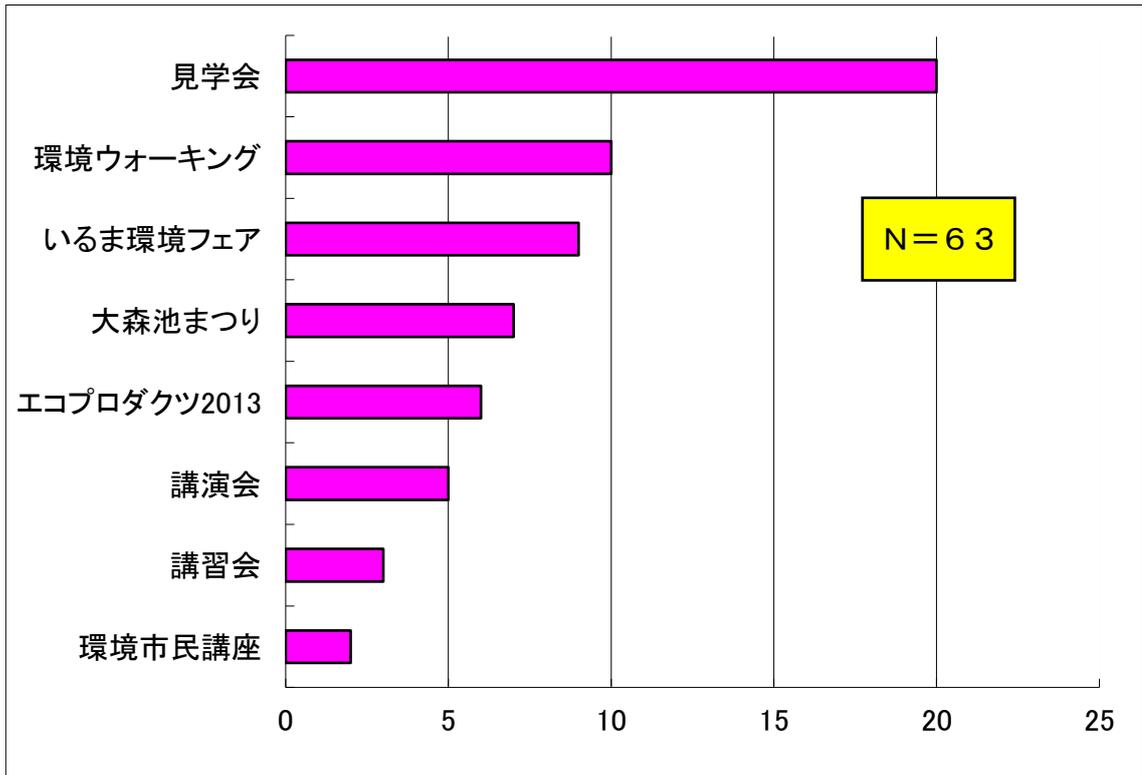
大変よかった	14
まあまあよかった	9
普通	5
あまりよくなかった	1
計	29



・どんなことが良かったか、悪かったか

- (1) 目新しいものではありませんでした。
- (2) メガソーラーを始めてみました。
- (3) 大きな場所が必要なことが判りました。
- (4) 見学のコースの順番が良くなかった。
- (5) 川崎市の努力が判りました。
- (6) 「百聞は一見に如かず」の感じです。
- (7) 浮島メガソーラーは天気の都合で充分に見学できなかったのが残念だった。
- (8) ごみの分別を見たが分別した物がどうゆう変化するか目で見るのが良かった。
- (9) ソーラーパネルのリサイクルは？ 昨年の北杜市の見学会で質問したのに答えが判りませんでした。残念です。
- (10) 埋立地の本格使用迄20年間がかかるとのこと、その間の太陽光発電装置の設置は非常に良い考えだと思います。

3. 今後もし参加するとしたらどんな行事に参加しますか？（複数回答あり）



4. その他ご意見ご提案等があればお聞かせください。

- (1) 市内各自治会メンバー1人以上を今日のようなイベントに強制的に参加させることが良いのではないか。
- (2) 参加する場所の内容等が良く判らない。事前に見学場所の案内などが欲しい。
- (3) 首都圏外郭放水路の見学会を希望する。
- (4) 食事が大変良かった。

感想など

1. バスは満席、参加者は32名（内スタッフ2名）当日のドタキャンなし、くもり時々小雨、
2. 「広報いるま」で募集したところ1日で満席
3. 「川崎クリーンガス発電所」は小さい建屋の面積の割には発電量が多い。バルチラ（フィンランド製）ガスエンジンV型16気筒6210kw2基、V型20気筒9000kw2基 計4基で30420kwの出力、従業員5～6名の交代制で発電所を維持している。また、天然ガス使用のためCO2排出量が少ない。会社は日立造船との関係が深い丸紅がPPSとして発電事業として行っている。見学はヘルメット着用で発電機の建屋の中まで見学することができた。事前に説明されたいほど凄い騒音ではなかった。2003年より稼働
4. 「浮島メガソーラー発電所」の見学は午後2時より、施設の見学に向かったところ到着して3分もしない内に急に雨が降り出し急きょ室内見学に変更、展望台からの見学ではなく全体を見渡せる5Fの窓からの見学となった。やはり傍で見るのと迫力がまったく違い、感想では「あまり良くなかった」と述べた方もいた。
5. 施設の「浮島メガソーラー発電所」は7000kw、ソーラーパネルが11haの広大な敷地に37926枚、東芝がシャープの単結晶シリコン製を設置した。敷地は川崎市所有、電力は変圧器で66000Vに加圧して東京電力に供給している。2011年8月より稼働、雑草を抑える有機土壌改良工法を行っている。
6. 直ぐ近くに「扇島メガソーラー発電所」があり13000kwで一回り大きい、パネルは63792枚、日立製作所が多結晶シリコンの京セラ製を設置した。現在では「浮島メガソーラー発電所」のみの見学を受け入れている。こちら電力は東京電力に供給、2011年12月より稼働

7. 前回見学した北斗市のメガソーラーはNEDO（新エネルギー開発機構）の実験場であり、ソーラーパネルも27種類で設置角度も15°、30°、45°の3通り、角度が可動式のものもありバラエティに富んでいる。それに比較して「浮島メガソーラー発電所」は海辺であることから風の影響を考え土台の設置費用が安くなる10°に統一したという。パネルは1種類のみ。
8. 今回の見学会は最近国民の関心の深い天然ガス発電とメガソーラー発電所を見学することができた。参加した方々もソーラー発電所の大きさにはびっくりしていた。しかし場所の広さの割には発電量が少ないような気がした。「浮島メガソーラー発電所」は見渡す限り広大な11haで7000kw、「川崎クリーンガス発電所」は学校の校庭程度の土地（1h程度）で30420kwである。原発問題などで緊急に代替エネルギーを必要としている日本の再生可能エネルギーが中々普及しないことから考えて、一時的にCO2排出量の少ない天然ガス発電へシフトするのも必要ではないかと思った。

本多進記



工場全体の説明



エンジン建屋の全体 手前が排気塔



建屋一杯のV20気筒のガスエンジン



手前にラジエターが見える



川崎マリエン展望レストランでの昼食



川崎マリエン展望室から川崎港が一望できる



浮島メガソーラー地上からの展望



室内からの展望